

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 中間 9月30日 期末 3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社ホームページ(http://www.kamigumi.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることが できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、積極的に企業情報やIR情報の開示を行っています。
当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.kamigumi.co.jp/>

テレビCMのご案内



当社では、CM「ドバイ／人間力・国際力・現場力。」を放映しています。
海外でのプロジェクト・ロジスティクスに取り組む社員の様子をご紹介します。

世界の物流をデザインする。



大型特殊トレーラーによる
長尺重量貨物の夜間輸送風景

株式会社上組

第**76**期 中間報告書

平成26年4月1日▶▶平成26年9月30日



株主の皆様へ

寒冷の候、平素は格別のご愛顧ご支援を賜り有り難く厚くお礼申し上げます。

さて、当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）における世界経済は、米国では緩やかに景気は回復しているものの、金融緩和縮小による不安定要素が払拭されておらず、欧州では失業率が高水準であるものの下げ止まりの兆候が見られ景気が回復しつつあり、アジアにおいても同様に景気は持ち直しつつあります。

わが国においては、政府による経済政策により景気は回復の傾向が見られ、消費税増税による駆け込み需要の反動も和らぎつつありますが、総じて需要は低調気味であり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

物流業界におきましても、円安水準が継続するなか、企業の生産ラインの海外シフト化により輸出貨物の取扱いも低水準のまま推移し、経営環境は厳しい状態が継続しました。

このような状況下にあって当社グループは、国内外の基盤のさらなる強化を図り、物流のトータル・オーガナイザーとして、「上組デザイン物流」を推し進めるとともに、徹底したコストの削減に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は前年同期に比べて3.1%増収の1,212億2百万円となり、営業収益の伸長に伴い営業原価が3.2%増加しましたが、営業利益は前年同期に比べて3.0%増益の118億30百万円、経常利益は1.2%増益の123億15百万円となりました。四半期純利益におきましては、優遇税制制度の適用により法人税等が減少した前年同期に比べて3.0%減益の79億9百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、米国の政策動向による影響や欧州・中国の景気減速が懸念され、また、物流業界におきましても物流需要を巡る受注競争は一層激化し、厳しい経営環境が続くものと予測されます。

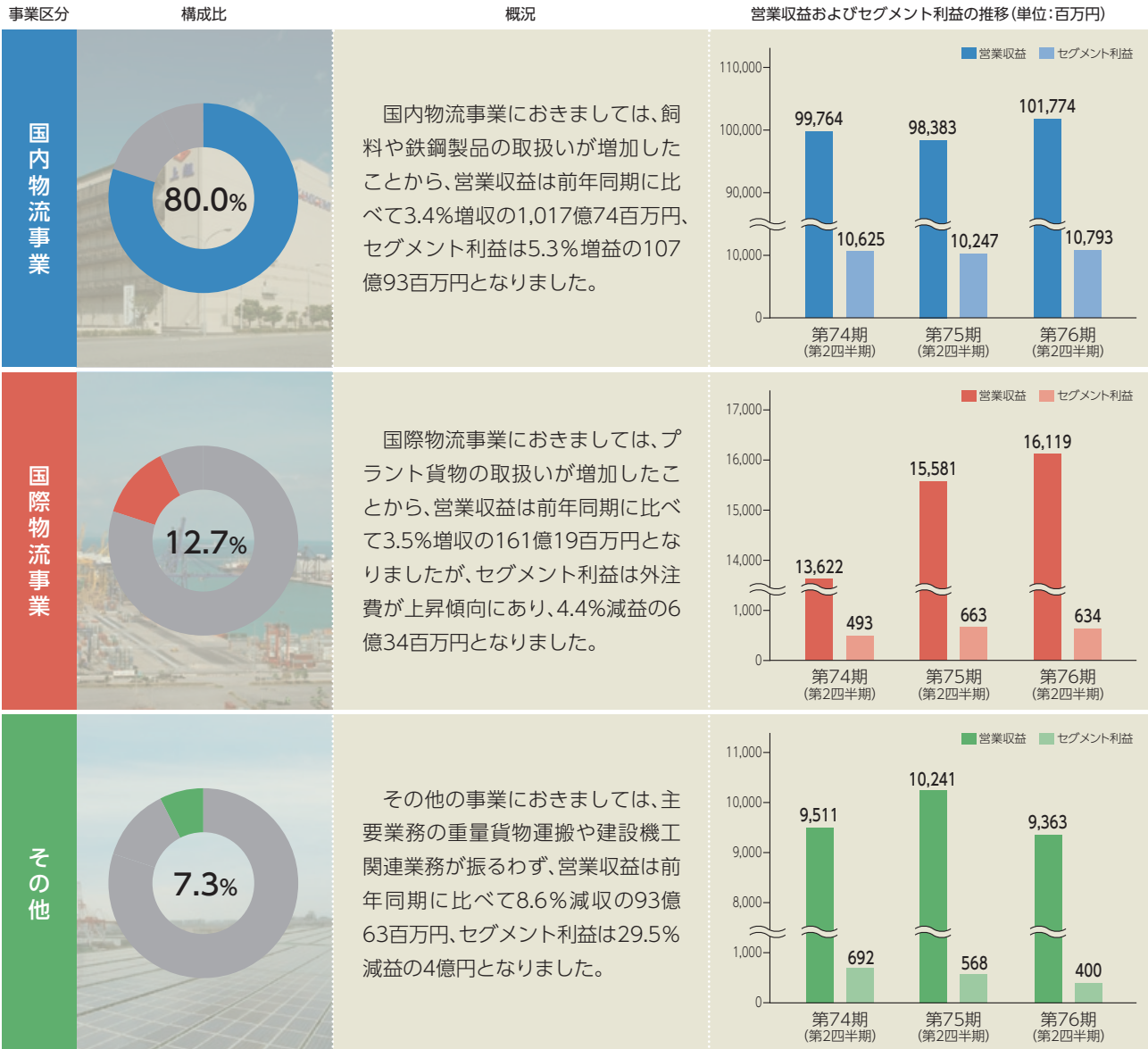
このような環境下にあって当社グループは、海外での積極的な拠点開発やアセット型物流を展開することにより、グローバルネットワークの充実・強化を図るとともに、国内外における豊富な物流資源を駆使した最適な物流を創造する「上組デザイン物流」を推進することにより、継続的な成長と企業価値のさらなる向上にまい進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

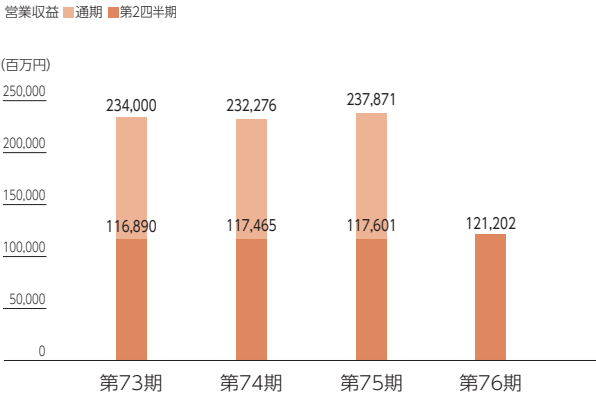


(右)代表取締役会長 久保 昌三
(左)代表取締役社長 深井 義博



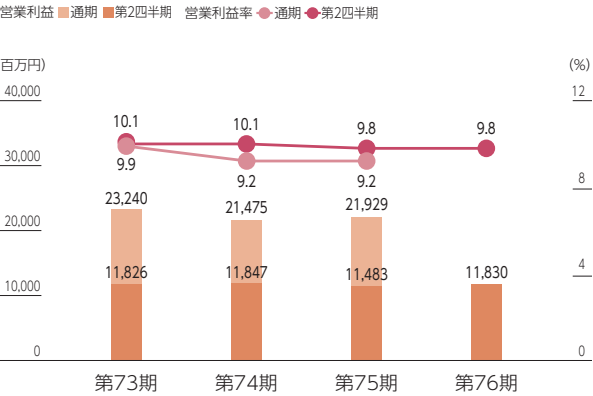
※上記の営業収益およびセグメント利益の数値は、セグメント間の取引消去前の数値を記載しています。

営業収益



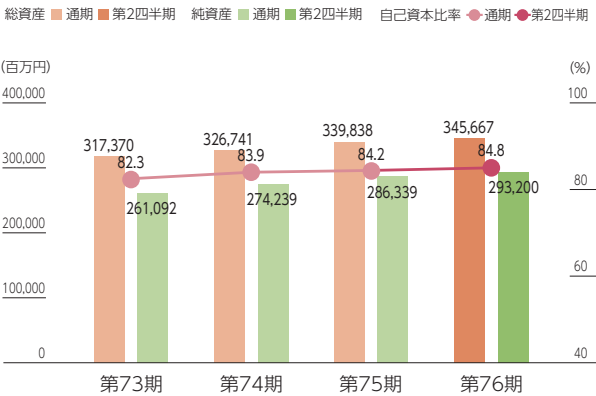
営業収益は前年同期に比べて36億円増収の1,212億2百万円となりました。

営業利益・営業利益率



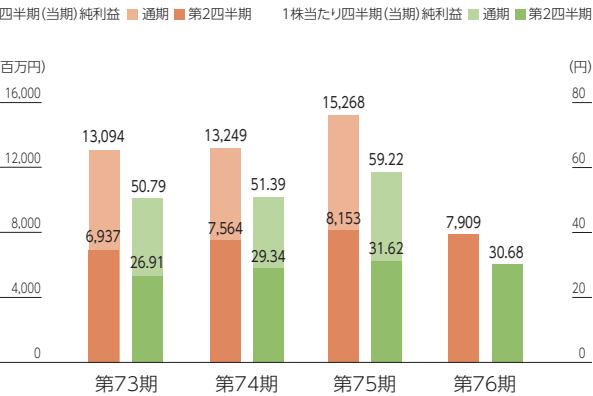
営業利益は前年同期に比べて3億47百万円増益の118億30百万円となりました。

総資産・純資産・自己資本比率



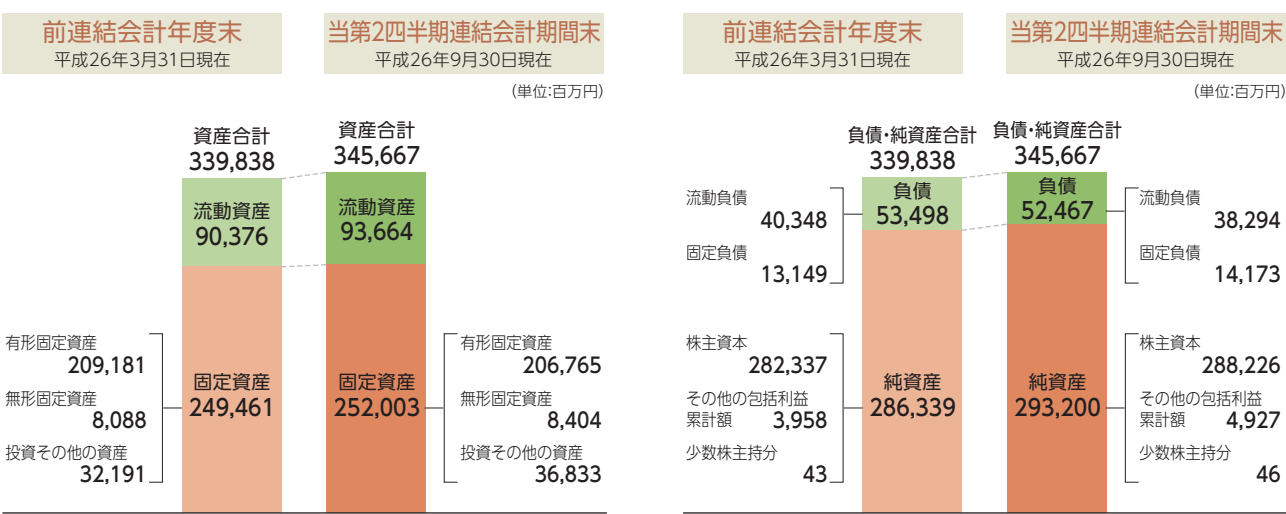
総資産は前期末に比べて58億29百万円増加の3,456億67百万円となり、純資産は68億60百万円増加の2,932億円となりました。

四半期(当期)純利益・1株当たり四半期(当期)純利益

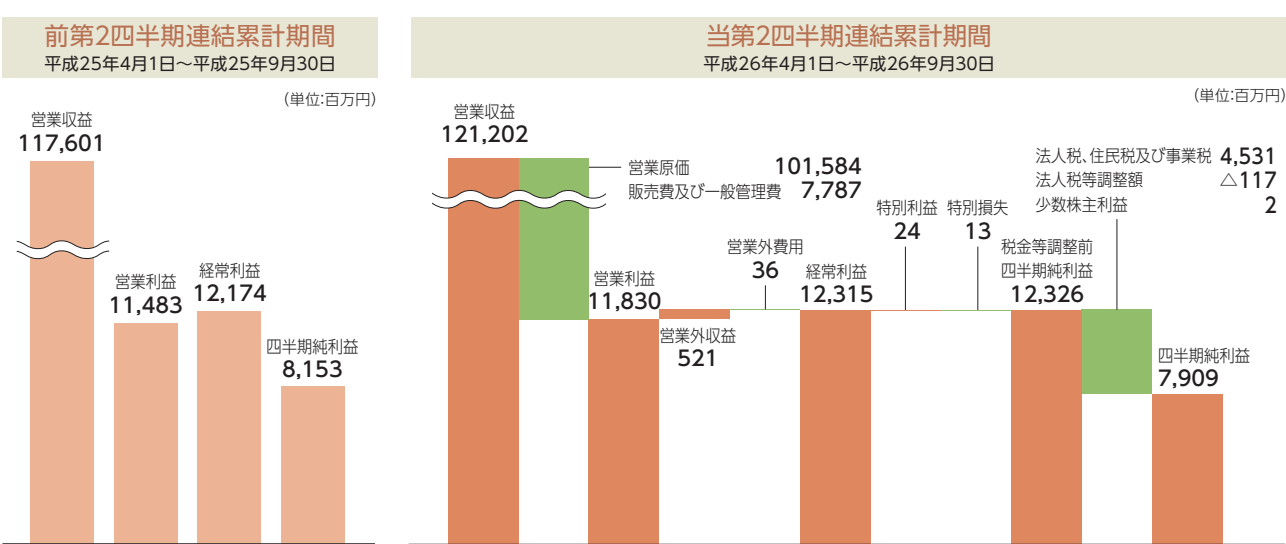


四半期純利益は前年同期に比べて2億44百万円減益の79億9百万円となり、1株当たり四半期純利益は30円68銭となりました。

>>> 四半期連結貸借対照表のポイント



>>> 四半期連結損益計算書のポイント



Topics

1

インドネシアに新倉庫建設

当社はインドネシアのグリーンランド工業団地において、新倉庫の建設を進めております。

当社はこれまで、フォワーディング業務を主体に海外事業展開を進めてまいりましたが、同国内における自動車関連貨物を中心とした保管ニーズの高まりなど、多様化する物流ニーズに的確に対応するため、新倉庫の建設に踏み切りました。

なお、新倉庫の建設・運営は、新会社PT. KAMIGUMI LOGISTICS INDONESIAが行います。

グリーンランド工業団地は、インドネシア最大の港湾であるタンジュンプリオク港および2020年開港予定のチラマヤ新港からのアクセスが良く、また日系企業が集中する工業団地エリアの中心部に位置していることから、ジャカルタ東部工業地帯の中心となることが期待され、潜在的な物流需要が見込まれています。

昨年設立したフォワーディング会社PT. KAMIGUMI INDONESIAと、新倉庫を活用したアセット物流との融合により、保管から輸送までの一貫輸送体制を確立してまいります。



Topics

2

「サニープレイス名古屋港」竣工

本年6月、当社旧名古屋支社ビル跡地に賃貸用マンション「サニープレイス名古屋港」が完成しました。同マンションは、ワンルームを中心とした、6階建て全20戸の単身者向けマンションで、最寄り駅から徒歩3分と近く、都市中心部へのアクセスにも電車で30分と、立地条件にも優れています。

今回のサニープレイス名古屋港の完成によって、当社所有のマンション棟数は総計11棟となりました。今後も、サニープレイスマンションの拡充に努めてまいります。



サニープレイス名古屋港外観▲

>>> 株式の状況

(平成26年9月30日現在)

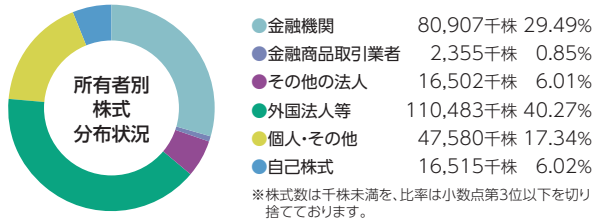
発行可能株式総数	499,550,000株
発行済株式の総数	274,345,675株
株主数	7,006名

大株主 (上位10名)		
株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	16,468 (千株)	6.38 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	14,547	5.64
かみぐみ共栄会	12,683	4.91
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY	8,669	3.36
全国共済農業協同組合連合会	7,344	2.84
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	6,737	2.61
上組社員持株会	6,160	2.38
ノーザントラストカンパニー エイプイエフシー リューエス タックス エグゼンテッド ペンション ファンズ	5,296	2.05
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー	5,126	1.98
一般財団法人村尾育英会	4,912	1.90

※1 自己株式16,515千株は、上記大株主から除いております。

※2 持株数は千株未満を切り捨てております。

※3 持株比率は自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てております。



>>> 会社の概況

(平成26年9月30日現在)

商号	株式会社 上組 (Kamigumi Co.,Ltd.)
創業	慶応3年(設立:昭和22年2月28日)
資本金	31,642,266,011円
従業員	3,801名(連結:4,276名)
本店	神戸市中央区浜辺通四丁目1番11号
東京本社	東京都港区芝浦三丁目7番11号
支社	名古屋、九州
事業本部等	海外事業戦略本部、営業本部、国際物流事業本部、港運事業本部、重量エネルギー輸送事業本部、米事業本部、青果事業本部、飼料・穀物事業本部、サニープレイス事業部
支店	東京、名古屋、大阪他22拠点
海外支社	海外統括
海外事務所	北京、無錫、ドバイ、ヤンゴン、バングラデシュ
主要な事業内容	国内物流事業: 港湾運送事業、倉庫業、貨物自動車運送事業、倉庫工場荷役請負業等 国際物流事業: 国際運送取扱業 その他: 重量貨物運搬据付業、不動産賃貸業、物品販売業、酒類製造販売業等

>>> 役員

(平成26年9月30日現在)

取締役		執行役員	
代表取締役会長	久保 昌三	社長*	深井 義博
代表取締役社長	深井 義博	専務執行役員*	牧田 秀男
代表取締役専務	牧田 秀男	専務執行役員*	平瀬 敏夫
取締役	平瀬 敏夫	専務執行役員*	佐伯 邦治
取締役	佐伯 邦治	常務執行役員*	田原 典人
取締役	田原 典人	常務執行役員*	堀内 敏弘
取締役	堀内 敏弘	常務執行役員*	市原 陽一郎
取締役	市原 陽一郎	常務執行役員*	村上 克己
取締役	村上 克己	常務執行役員	井上 博信
取締役(社外)	宮崎 達彦	常務執行役員	小林 保男
監査役		執行役員	吉田 康蔵
常任監査役(常勤)	小前 正英	執行役員	平松 宏一
監査役(常勤)	板倉 哲夫	執行役員	長田 行弘
監査役(社外)	宗吉 勝正	執行役員	安田 和弘
監査役(社外)	中尾 巧	執行役員	秋田 恵吾
監査役(社外)	林 洋和	執行役員	椎野 和久
		執行役員	前田 和也
		執行役員	岸野 保宏

※ *印は取締役兼務者です。